

様式 1

県立下妻第二高等学校【総合的な探究の時間計画】（令和 8 年度）

学校の教育目標

文武両道を目指して、知・徳・体のバランスの整った人材を育成する。国際理解教育を推進し、グローバル化に対応できる現代的な視野を育むと同時に、地域の核となる人間性豊かなたくましい人材を養成する。

総合的な探究の時間の評価

目標と育成する資質・能力	学習評価	配慮を必要とする生徒への支援方法
(1) 探究の課程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身につけるとともに、探究の意義や価値を理解するようにする。 (2) 地域や社会の人、もの、ことと自分自身の関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析してまとめ、表現する力を身につける。 (3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、持続可能な社会を実現するために行動し、国際的な視野を持ちつつ、地域連携に尽力するグローバルマインドを育成する。	テキスト・ワークシートの記述や成果物、研究レポートの内容、発表等を対象に、ルーブリックを用いて各評価の観点の到達度をはかる。また、学年末に授業全体のルーブリックに照らして、評価文言を決定する。	教科横断的に活動を実施し、より多くの教員が関わることで情報共有・共通理解を図る。また、ペア・グループワークを通じた協働的探究活動を通し、生徒相互でのサポート体制が構築できるよう努める。

各学年における主な取組内容

「総合的な探究の時間」を課題研究等で代替している場合の科目名（ ）

学年	主たる探究課題及び学習活動	外部との連携	育成を目指す生徒像
1 年	○進路探究 生徒一人一人の進路実現のために、多様な進路について調べたり、専門家から話を聴いたり、自ら訪問するなどしたりして、進路について情報収集を行い、自分の進路について考える。 ○社会問題探究 時事問題などを通じて自分たちの社会がどのような問題に直面しているかを知り、社会の一員としてどのように関わり、解決を目指していくべきかを多様な意見を参考にし、他者と協働しながら考える。	地元企業・公務員・専門学校・大学・卒業生等	○地域のリーダー的存在となる人 ○他者と協働して課題に取り組み、よりよい解決に向け主体的に考え、行動する人
2 年	○地域探究 地域の核となる人材育成のため、地域の課題を発見し、情報を収集し、解決のための手立てを考える。下妻市活性化のために必要な策を講じ、下妻市に提言する、	下妻市役所 地域企業	地域の核となる人材

様式 1

<p>3年 (科目名)</p>	<p>○進路探究 自分の進路について考え、希望進路先について情報収集する。志望理由書を書く練習を通して自分のやりたいこと、将来の展望について整理する。 ○時事問題 時事問題について情報収集し自分の興味のある問題について深く考察し多面的な視点から一つの問題を考える。</p>	<p>地元企業、卒業生、大学や専門学校、市役所、警察、消防等の方による講演会などを組み入れる。地域のイベントやボランティアなどに積極的に参加する。</p>	<p>自分、他者がよりよく生きるために意欲的に協働する態度を作り、社会貢献する意識を向上させる。</p>
---------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------